

## タイ

## 製造業を中心に景気は低迷

SMBC Asia Monthly

日本総合研究所 調査部  
主任研究員 熊谷 章太郎  
kumagai.shotaro@jri.co.jp

### ■自動車とエレクトロニクスを中心に製造業の業況は悪化

タイはサービス業が底堅く推移する一方、製造業の低迷が続く等、景気は業種間でまだら模様となっている。2023年10～12月の実質GDPは農林水産業と製造業の悪化を主因に前期比▲0.6%となり、2023年通年の成長率は前年比+1.9%となった。

2023年末にかけて製造業の悪化ペースが加速した理由としては、日本、中国、欧州向けの輸出が減少したことに加え次の2点が挙げられる。

第1に、ガソリン車からEV(電気自動車)へのシフトである。2023年は中国製EVの輸入が急増し、ガソリン車の国内生産を代替した。乗用車の新規登録台数に占めるEVの割合は2022年前半の1%前後から2023年末にかけて25%に急上昇したことから(右上図)、ガソリン車関連の国内生産が打撃を受けた。

第2に、タイの主要輸出品であるHDD(ハードディスクドライブ)への需要減少である。コロナ禍を経て経済・社会のデジタル化が加速するなか、データセンター向けを中心にHDD輸出は2021年後半にかけて急増したが、特需の一巡に伴い2023年に急減した(右下図)。

### ■今後も製造業の低迷が続く可能性

EVの急増とHDDの不振は、タイ製造業を引き続き下押しする可能性が大きい。まず、EVについては、2024年以降、EVメーカー各社はタイでの現地生産を開始・拡大することを計画している。しかし、バッテリー等付加価値の高い部品の多くは輸入に依存するため、EV一台あたりのタイ国内で生み出される付加価値はガソリン車よりも小さい。タイが現在のEVシフトを国内製造業の収益に結びつけるためには、部品の国内調達率を引き上げるとともに、豪州やASEAN等タイ自動車の主要輸出国・地域へのEV販売増が必要になる。

HDDについては、スマートフォンやタブレットの普及がHDDからSSD(ソリッドステートドライブ)へのシフトを促進している。SSDの技術進化を背景に、SSDとHDDの価格差は縮小していることから、データセンター向けストレージについてもHDDからSSDへのシフトが加速する可能性が高まっている。このため、今後のHDD需要は一段の落ち込みが避けられない。

HDDが衰退する一方、中国に生産拠点を有するPCB(プリント基板)メーカーがタイへの生産シフトを進めるとともに、EV向けパワー半導体への関心が高まる等、タイのエレクトロニクス産業は転換期を迎えている。今後、タイの主力輸出品がHDDから他の半導体関連製品にシフトできるかどうか、中期的なタイ経済の行方も左右しよう。

＜EV(乗用車)新規登録台数と全体に占める割合＞



(出所) Department of Land Transportを基に日本総研作成

＜タイのHDD輸出＞



(出所) Ministry of Commerceを基に日本総研作成  
(注) 後方6か月移動平均。

当レポートに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。当レポートは単に情報提供を目的に作成されており、その正確性を当行及び情報提供元が保証するものではなく、また掲載された内容は経済情勢等の変化により変更される事があります。掲載情報は利用者の責任と判断でご利用頂き、また個別の案件につきましては法律・会計・税務等の各方面の専門家にご相談下さるようお願い致します。万一、利用者が当情報の利用に関して損害を被った場合、当行及び情報提供元はその原因の如何を問わず賠償の責を負いません。